

三寒四温とはよく言ったもので、3月に積雪があり冬に逆戻りの感でしたが、ようやく待ち遠しかった桜の季節となりました。四季折々の美しさを見せる東白川村。桜から新緑へのこの季節は何となく心が躍り私も大好きな季節です。

東白川村も第五次総合計画と東白川版地方創生総合戦略の確実な実施にむけて新年度をスタートさせました。今月号の村広報紙では新年度の主要事業について説明します。

(広報紙今月号は、4月14日に村HPウェブ掲載となります。)

地方創生事業の昨年度からの継続事業である「持続可能なネットワーク事業」では、農産物の生産と販売の体制整備を行い、本格的な稼働を始めます。また、「つちのごマルシェ事業」でも、村の産物の商品価値を高め、ファンを増やし、村内産のお米やお茶など農産物加工食品などの販売促進を進めます。また、新たに都市部での大規模量販店で東白川村物産展を計画的に開催し、これらの販路拡大を行なうてまいります。また、新規事業として「林業・製材業・建築業の担い手育成事業」を開始します。具体的には地方創生の繰越事業で担い手のための住宅を建築すると共に、全国から木材関連産業の担い手を募り、事業所への就業を促進し、受け入れ事業所の支援を積極的に実施します。

農林業振興では、トマト生産や白川茶の生産と販売の支援、集落営農の支援と促進などを継続して強力に進めるとともに、林業では今後百年をかけて本村全域が望ましい森林の姿になることを目指し、「百年の森林計画策定事業」に着手します。

医療福祉の分野では、集落座談会で説明いたしました診療所と老健の新築移転の具体的な計画を進める年度になります。また、五加交流サロンの運営開始や越原交流サロンの整備計画も進めてまいります。

教育の分野では、文化やスポーツを通じて村民生活を豊かにしていただくことを重視して、従来の「教育係」を「生涯教育係」に改めるとともに、新たな子育て支援策として「輝け東っ子事業」として保育園、小学校、中学校で小規模校ならではの特色のある体験事業を計画しています。また、子育て支援と人口対策を目的として、村での定住を条件に奨学金の返済の一部を助成する事業を始めます。ハード事業では、はなのき会館の大規模改修二期工事、中学校の運動場整備、小学校の防水工事などを予定しています。

道路などのインフラ整備や防災対策では、継続事業である中山間地事業や土地改良事業、急傾斜対策事業を実施するとともに、東白川村防災計画でのレッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)解消を図るため、神土中ノ谷と越原曲坂川の砂防事業の調査設計に着手します。また、新たな取り組みとして、地域の皆様が自ら生活に密着した道路施設などを整備することができる事業として「官民協働の地域づくり支援事業」を創設します。

すべての事業を紹介することはできませんが、村民の皆様の生活に密着しながら将来を見据え、それぞれの分野で布石を打っていく予算としたつもりであります。しかし、どの事業も行政だけでは到底成し得ないことであり、議会、各団体、そして村民の皆様の格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 4 月

東白川村長 今井俊郎